

2021年1月8日

コロナに負けない！12・23食料×生活支援プロジェクトに  
ご支援・ご協力いただいた皆さま

東京社会保障推進協議会（東京社保協）  
東京地方労働組合評議会（東京地評）  
東京民主医療機関連合会（東京民医連）

拝 啓

年始の候、皆さまにおかれましてはますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。日頃より私たちの取り組みにご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年末開催いたしました「コロナに負けない！食料×生活支援プロジェクト」にご支援・ご協力を賜りましたことを、心からお礼申し上げます。

当日は、東京都豊島区や文京区にお住いの方を中心に254人が来場され、なかには23区東部や多摩地域、埼玉県南部からお見えになられた方もいらっしゃいました。来場者の7割以上が女性で、半数に同居のお子さんがいらっしゃいました。また学生25人、ひとり親世帯の方27人とそれぞれ来場者の1割を占め、平日昼間の開催にもかかわらず、働いている方が34%もいらっしゃいました。コロナ禍がひとり親世帯、学生をはじめ、広く勤労者に影響を及ぼしていることが伺えます。当日取材・撮影に来られたTBS「報道特集」（12/26）やNHK「ニュース9」（12/25）などでもその様子が紹介され、深刻な状況を知らせることが出来たと思います。

白米460キロやみかん250キロ、アルファ米1000食をはじめ、皆さまからお預かりしたご寄付品すべてを、来場された皆様にお渡しすることができました。女性・子ども用品ブースでは「シングルマザーどうし、頑張ろうね」と励まし合っている姿や涙しながらコロナ禍の一年を振り返っている方々が何人もいらっしゃいました。コロナ禍でこれ以上傷つく人を増やさないために、行政による支援を拡充する取り組みが必要と痛感しています。

感染症拡大はおさまらず、2回目の緊急事態宣言が発令されました。皆様におかれましても、どうぞご自愛いただき、ともにこの困難を切り抜けてまいりましょう。今回の発令に伴い、営業や生活に見通しが立たず、困窮する方々がさらに増えるのではないかと危惧しております。今後も引き続き、このような支援に取り組んでいきたいと考えております。皆さまのいっそうのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本来ならば拝眉のうえ、ご挨拶を申し上げるべきところですが、略儀ながら書中をもちましてお礼申し上げます。